

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 24 年 5 月 24 日 (2012.5.24)

【公表番号】特表 2011-515261 (P2011-515261A)

【公表日】平成 23 年 5 月 19 日 (2011.5.19)

【年通号数】公開・登録公報 2011-020

【出願番号】特願 2011-500090 (P2011-500090)

【国際特許分類】

B 6 0 C 7/00 (2006.01)

B 3 2 B 3/26 (2006.01)

B 3 2 B 5/02 (2006.01)

B 6 0 C 7/18 (2006.01)

B 6 0 C 9/00 (2006.01)

【F I】

B 6 0 C 7/00 H

B 3 2 B 3/26 A

B 3 2 B 5/02 B

B 6 0 C 7/18

B 6 0 C 9/00 H

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 3 月 16 日 (2012.3.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

変形可能なセル状構造体を形成する積層品 (1) であって少なくとも前記積層品は、  
両方とも同一の主方向 X に差し向けられた上側バンド (2) 及び下側バンド (3) と、  
前記 2 つのバンド相互間に位置し、前記バンドを繫留ゾーンと呼ばれるゾーン (4) 内  
で連結する連結用円筒形構造体と呼ばれている円筒形構造体 (5) から成る方向 X に延び  
る連続体 (5 A, 5 B, 5 C) とを有し、

前記円筒形構造体は、方向 X に互いに接触関係をなしておらず、

各連結用円筒形構造体 (5) は、母線が方向 X に垂直な軸線 Y に沿って差し向けられた  
複数個の要素筒体 (5 a, 5 b) から成り、前記要素筒体は、互いに内外に嵌まり合うと  
共に各繫留ゾーン (4) 内で互いに連結されている、

ことを特徴とする積層品。

【請求項 2】

前記要素筒体は、同心の筒体である、

請求項 1 記載の積層品。

【請求項 3】

前記要素筒体は、樹脂母材中に埋め込まれた繊維から成る複合筒体である、

請求項 1 又は 2 記載の積層品。

【請求項 4】

前記繊維は、連続であり且つ一方向であり、前記繊維は、前記軸線 Y に垂直な平面内に  
円周方向に差し向けられている、

請求項 3 記載の積層品。

## 【請求項 5】

前記要素筒体の前記繊維は、ガラス繊維であり及び / 又は炭素繊維である、  
請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載の積層品。

## 【請求項 6】

前記上側バンド及び前記下側バンドは、樹脂母材中に埋め込まれた繊維から成る、  
請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 項に記載の積層品。

## 【請求項 7】

前記バンドの前記繊維は、連続繊維である、  
請求項 6 記載の積層品。

## 【請求項 8】

前記バンドの前記連続繊維は、一方向であり且つ前記方向 X に平行に差し向けられている、  
請求項 7 記載の積層品。

## 【請求項 9】

前記バンドの前記繊維は、ガラス繊維及び / 及び又は炭素繊維である、  
請求項 6 ないし 8 のいずれか 1 項に記載の積層品。

## 【請求項 10】

前記樹脂は、熱硬化性樹脂である、  
請求項 3 ないし 9 のいずれか 1 項に記載の積層品。

## 【請求項 11】

前記熱硬化性樹脂は、ビニルエステル樹脂である、  
請求項 1 0 記載の積層品。

## 【請求項 12】

前記積層品は、連続の且つ閉じられた円周方向リングを形成する、  
請求項 1 ないし 1 1 のいずれか 1 項に記載の積層品。